

トークセッション



名古屋の演劇の未来

制作観客篇

「コロナ禍で離れた観客が戻ってこない」
これは演劇関係者なら誰もが抱える悩みだと思います。
では「コロナ禍以前は観客が増え続けていたのか？」という
決してそんなことはありませんでした。
コロナ禍を経てライフスタイルが変わると同時に、
潜在的な問題が10年早く押し寄せてきたのが現状ではないでしょうか。
このトークセッションでは、
演劇と観客の関係について幾つかの問題提起をした上で、
パネラーを中心に会場の皆さんと一緒に深掘りをし、
これからの演劇の未来について語り合いたいと思います。

演劇関係者
演劇ファン
どなたも歓迎!

日時

2025年3月20日(木・祝) 13:00~16:00 開場 12:30

会場

損保ジャパン人形劇場ひまわりホール
(名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル19F)

登壇者

平松隆之(推カケ☆批評塾/劇団うりんこ/うりんこ劇場)
佐和ぐりこ(オレンジスタ)
半田萌(クリエイティブ・リンク・ナゴヤ)
たちばなせつこ(メロンパンクリエイション)

参加費

500円

ご予約フォーム

<http://bit.ly/4hSgmGs>



お問い合わせ(メール)

oshikakehihyo19@gmail.com

お問い合わせ(X)

@oshikakehihyo19

..... 主なテーマ

- ✓ 今の名古屋の演劇シーンって?
- ✓ 小劇場の観客を増やしていくには?
- ✓ 制作者を仕事にするとは?

ご来場者交えてのディスカッションも実施予定